

とうほうだい 授業だより (語り継ぐ原爆の記憶)

8月6日、火曜日。今日は、第79回目となる^{げんばくき}原爆忌の日です。今朝の新聞で知ったことですが、今現在、被爆者の平均年齢が八十五歳を超えているそうです。それを思うと、私たちは、その体験を直接聞ける最後の時を生きていると強く思いました。

さて、下の四つの歌(句)は、原爆忌の今日、平和記念公園で体験談を語られる男性の歌(句)と、今日、歌集を出版される女性の歌(句)です。どれも私の心に染み入りました。恒久の平和を願い、未来に繋げていくことは、私たちの使命としなければならないと、改めて強く思いました。

・生き残りし 吾は語り継ぐ原爆の 怖さ平和の 尊きことを

^{しゃくねつ}・灼熱の ^{せんこう}閃光浴びて六十年 不思議と吾は 命長らへ

[96歳 男性 当時、高校2年生]

・この手もて 友の^{なきがら}亡骸焼きし日よ その桜色した 骨を拾へり

・八月六日 家を出たまま 帰らざる人 あまたいる街 それが広島

[89歳 女性 当時、小学4年生]

途絶えぬよう

原爆の記憶

語り継ぐ

